

国立保健医療科学院 短期研修における「統計系2研修」の特徴づけ

①本院の統計系2研修のそれぞれの特徴, ②想定する受講者(および統計スキル), ③研修で取扱う統計解析の手法, ④研修で使用する統計解析ソフト

(1)短期研修「疫学統計研修」

10月(3日間)

研修主任 高橋秀人

- ①現在解析などで課題を抱えている人を優先したコース
- ②業務でデータ解析を行っている方, 解析手法の名前を知っており, その手法の原理に興味がある方(解析技術*1: 中級以上)
- ③標準的な手法*2に加えて, 問題解決のために必要な解析手法
- ④研修生が統計解析ソフトを用意する(研修生が普段利用している統計解析ソフトが望ましい)

(2) 短期研修「地域保健支援のための保健情報処理技術 研修」

11月~12月(10日間)

研修主任 星佳芳

- ①入門から発展までの標準コース
- ②業務でこれからデータ解析を行う方, あるいは現在データ解析を行っている方, データ解析を体系的に学びたい方(解析技術: 初級以上)
- ③標準的な手法
- ④表計算ソフトEXCELに加えて, 統計解析ソフト(SPSS, またはEZR) (統計ソフトは集合研修でない場合は研修生が準備) を利用する予定

*1: 解析技術: 初級(統計解析ソフトはあまり使ったことがない), 中級(統計解析ソフトを用いてデータ解析を行ったことがある)

*2: 標準的な手法: データの記述/要約(ヒストグラム, 度数分布等/代表値, 散布度等), 二群の比較法の各種(t検定, Wilcoxon順位検定(Mann-Whitney検定), χ^2 検定, 符号付順位検定), 回帰分析(線形回帰・logistic回帰・Poisson回帰), 生存時間解析(Kaplan-Meier曲線, log-rank検定, Cox回帰)等